

**大潟村役場人事給与システム更新事業  
公募型プロポーザル評価基準**

平成 24 年 6 月 18 日

大潟村

## 1. 大潟村役場人事給与システム更新事業 公募型プロポーザル評価基準について

これは、大潟村が実施する「大潟村役場人事給与システム更新事業」の公募型プロポーザルにおいて、提出された事業者からの提案について、最も優れた提案者を選定するための方法を定めるものである。

## 2. 評価方法

提案に対する評価は、「大潟村役場人事給与システム更新事業 公募型プロポーザル審査委員会」が、1次審査と2次審査を実施して行う。

評価は、価格以外の技術内容を点数化した「技術評価」、要求機能を一定のルールに基づいて点数化した「機能評価」、及び利用者の使いやすさについて点数化した「利用者評価」を合算して行うとともに、見積額とその内容についても評価の対象とする。

評価点の算出手法及び配点は以下のとおりとする。

$$\begin{aligned} \text{評価点} &= \text{技術評価点(1次審査)} + \text{機能評価点(1次審査)} \\ &+ \text{技術評価点(2次審査)} + \text{利用者評価点(2次審査)} \end{aligned}$$

### 【評価項目と配点】

評価項目		配点
1次審査	技術評価	400
	機能評価	600
	小計	1,000
2次審査	技術評価	200
	利用者評価	800
	小計	1,000
合計		2,000

### (1) 1次審査

1次審査は、提案事業者からの提出書類に基づき行う。

#### ① 技術評価(1次審査)

次項に定める評価項目について、評価基準に基づき評価を行う。

審査員に400点を配分し、その平均を技術評価点(1次審査)とする。

#### ② 機能評価(1次審査)

要求機能点(次項参照)を機能評価点(1次審査)とする。

#### ③ 提案見積額

提出した見積書について、公募型プロポーザル審査委員会が評価を行う。

## (2) 2次審査

2次審査は、プレゼンテーション及びデモンストレーションについて行う。

### ①技術評価(2次審査)

提案事業者のプレゼンテーションに関して、次項に定める評価項目について、評価基準に基づき評価を行う。

審査員に200点を配分し、その平均を技術評価点(2次審査)とする。

### ②利用者評価(2次審査)

提案事業者のデモンストレーションに関して、次項に定める評価項目について、評価基準に基づき評価を行う。

審査員に800点を配分し、その平均を利用者評価点(2次審査)とする。

## 3. 1次審査における評価基準

### (1)技術評価(1次審査)の評価基準

提出書類に基づき、以下の評価項目について審査を実施する。

評価項目	評価基準	点数
提案事業者の概要	①事業を実施するのにふさわしい組織や運営体制になっているか。 ②過去にシステムの導入実績があるか。 ③構築作業の担当予定職員が、地方自治体で構築における責任者としての経験があるか。 ④協力事業者があるか。ある場合は、ふさわしい協力事業者か。 ⑤品質・情報管理に関する認証を有しているか。	20
提案システムの総括	①本事業の目的を正しく理解し、提案事業者の考えが明記されているか。 ②調達範囲及び基本要件を正しく理解し、事業実現のための具体的な記述があるか。 ③実現にあたり、当村のメリットとなる具体的な記述があるか。 ④大潟村の課題に対する総括的な提案をしているか。	40
提案システムの仕様	①システムの全体像が明示されているか。 ②安定してシステムが稼働できる機器構成となっており、機器構成や必要なソフトウェア等が明確に示されているか。 ③導入するパッケージの性能に関する具体的な記述があるか。 ④時間外手当の支払事務への対応について、具体的な記述があるか。 ⑤安定稼働への工夫について具体的な記述があるか。 ⑥障害回避手法及び障害発生時の対応について具体的な記述があるか。 ⑦セキュリティ対策について具体的な記述があるか。 ⑧その他大潟村の課題に対する具体的な提案をしているか。	120

提案システムの構築	①事業の進捗管理手法や構築体制が適切に示されているか。 ②配置予定の責任者・技術者が必要な資格を有しているか。 ③予定している期間内で稼働可能となるような開発工程を提示しているか。 ④提案事業者と当村との役割分担が明記されているか。 ⑤協力事業者がある場合、協力事業者との役割分担が明記されているか。	40
本稼働後の保守・運用支援	①本稼働後のシステム運用のイメージが明示されているか。 ②システムの保守・運用の考え方が示されているか。 ③稼働後の保守・運用体制とその方法が示されているか。 ④運用時の障害対策、セキュリティ対策について具体的な提案をしているか。 ⑤法改正等におけるシステム改修の考え方が明確に示されているか。 ⑥契約終了後のデータ移行の考え方が明確に示されているか。 ⑦協力事業者がある場合、協力事業者との役割分担が明記されているか。	80
操作研修	①研修の実施方法が具体的に示されているか。 ②研修の工夫が示されているか。	20
独自提案	①当村で受け容れられる独自提案が示されているか。	80
合計		400

## (2)機能評価点(1次審査)の評価基準

表1「機能要件確認書」に記入された各要求機能に対する対応、並びに表1の「対応手法」欄に記載された内容に基づき、次の配点のとおりに採点する。

なお、「対応手法」欄に記載された内容について電子メールで照会する場合があるので、照会した場合は迅速に回答すること。

	標準	カスタマイズ	対応不可
必須機能	5	1	0
任意機能	2	0	0

採点後の得点の合計点について、次の算定式により要求機能点を算出する。ここで、「満点」とは、すべて「標準」で対応した場合の総得点を意味する。

$$\text{機能評価点(1次審査)} = \text{合計点} \div \text{満点} \times 600$$

## (3)提案見積額の審査基準

技術評価(1次審査)及び機能評価(2次審査)の結果とともに、提案見積額とその内容について審査を行い、2次審査の対象事業者を選定する。

#### **4. 2次審査の審査基準**

##### **(1) 技術評価(2次審査)の審査基準**

プレゼンテーションに基づき、以下の評価項目について実施する。

項目	評価基準	点数
プレゼンテーション	①提案内容の説明が分かりやすく、理解できるか。 ②使用者のことを考えてシステムが構築されているか。 ③1次審査における審査員の疑問が解決したか。	200
	合計	200

##### **(2) 利用者評価(2次審査)の審査基準**

デモンストレーションに基づき、以下の評価項目について実施する。

項目	評価基準	点数
デモンストレーション	①各種事務作業において、使いやすいシステムであるか。 ②画面を見て直感的に操作できるよう工夫された画面レイアウトであるか。 ③関連する他の画面への遷移がスムーズであるか。 ④大潟村の課題への対応が示されているか。 ⑤帳票が見やすいか。	800
	合計	800